

# 4月23日は本と花を贈り合う、サン・ジョルディの日 世界本の日、子ども読書の日。



© 2016 サン・ジョルディブック

## サン・ジョルディフェスティバル名古屋2018

4月22日(日) 10:00~17:00

名古屋テレビ塔 1Fタワースクエア (入場無料)

主催/サン・ジョルディ名古屋実行委員会

(愛知県書店商業組合、日本・カタルーニャ友好親善協会)、中日新聞社

後援/株トーハン、日本出版販売株、株中央社、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会

協賛/児童書出版社各社、株静岡産業社

協力/名古屋ビブリオバトルの会、フェアトレード・ツキイチ・マルシェ

◆詳しくは、HPで <http://www.aichi-books.jp/> ※イベントは予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

### 「ステージイベント」(※観覧無料)

- ・絵本作家「宮西 達也さん」による自作絵本の読み聞かせ&サイン会
- ・絵本作家「長尾 琢磨さん」による自作絵本の読み聞かせ&サイン会
- ・ビブリオバトル in名古屋テレビ塔



### 「コーナーイベント」(有料)

- ・本屋さんが選んだ子どもに読み聞かせたい絵本101冊の展示・販売  
バラの販売

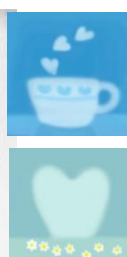
中古本、中古CD販売

ビブリオバトルチャンプ本の展示・販売

フェアトレード・ツキイチ・マルシェ 出店

イラストレーター「茶畑 和也さん」によるワークショップ

ぬりえコンテスト(優秀作品には図書カードプレゼント) ※参加は無料



# サン・ジョルディの日

(日本・カタルーニャ友好親善協会HPより)

親しい人に気持ちをこめて、本や花を贈り合うカタルーニャ伝統の日です。男性から女性に赤いバラ(花)を、女性から男性に本を贈ります。親子や友人同士でもプレゼントします。カタルーニャでは、この日は花の市や本の市が街にたち、人々は本やバラを買い求めます。特にバルセロナのランブラス通りでは、子どもや大人が行き交い、大変な賑わいで、まさに年に一度のお祭りとなります。



サン・ジョルディ[Sant Jordi]は、聖人の名前。中世からカタルーニャ地方の守護聖人として、地域の人々に親しまれてきた騎士の名前です。

サン・ジョルディは、架空の人物とも実在の人物とも、議論の分かれるところですが、トルコのカップドキアで4月23日に殉教したと言われています。

サン・ジョルディの伝説のひとつに、龍退治の話があります。ある国の王女が龍にとらえられ、いけにえにされる所をサン・ジョルディが現れて龍を退治して王女を救いました。その時にサン・ジョルディの剣の一刺しで龍の血が地面に流れ、そこに美しい赤いバラが咲いたという話です。

サン・ジョルディは、サン・ジョルジュ、セント・ジョージなどと発音を変えて、ヨーロッパ各地の守護聖人となっています。龍と戦う若き騎士、サン・ジョルディの話は、スペインのカトリック教徒がイスラム軍から国をとりもどす戦い、あるいは後になってカタルーニャの自治や言葉を禁止した独裁政治からカタルーニャの独立を求めて戦う精神と重なったためか、カタルーニャ地方では現在もサン・ジョルディ信仰は人々のアイデンティティーとなって深く根づいています。

花(特に赤いバラ)を贈るのは、サン・ジョルディ伝説の赤いバラが咲いた話によるもの。

カタルーニャでは、青い麦の穂をそえた一輪のバラが一般的です。

一方、本に関しては、サン・ジョルディの命日4月23日がスペインの文豪セルバンテスの命日と同じだったことから、本と花という組み合わせが始まりました。また、この日はシェイクスピアの命日にもあたります。

日本のサン・ジョルディの日のアイデンティティーとなって深く根づいています。

